

【様式】

平成29年度 学校マネジメントシート

学校名 (相可高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の夢をかなえる学校 ・地域と共に歩む学校 ・教職員がやりがいを実感し互いに高めあう学校
(2)	育みたい 児童生徒像	夢の実現を目指して自律的にかつ誠実に学び続けることができる生徒 変化や困難に対して柔軟にかつたくましく対応することができる力を有する生徒
	ありたい 教職員像	生徒の学力向上に努めるとともに生徒の人権・健康・安全を守ることができる教職員 同僚性を発揮するとともに互いに支えあうことができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を 提供する相手と そこからの要 求・期待		生徒、保護者、地域社会 ○学習指導・生徒指導・進路指導、部活動指導の充実 ○地域活性化への貢献 ○卓越した取組とその成果の継承	
(2) 連携する相手と 連携するうえでの 要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	生徒：分かる授業・楽しい授業、進路実現、部活動の活性化、学力の定着・向上、希望進路の実現 保護者：学習指導・生徒指導・進路指導の充実 地域社会：地域活性化への貢献 関係企業・団体等：話題性によるイメージの向上	保護者：学校教育への理解・協力・支援、家庭での指導 地域社会・企業等：教育活動への理解・協力・支援、学習成果を発表・活用する機会の提供	
(3) 前年度の学校 関係者評価等		○統合後7年が経過し、普通科について、学力や進路等について総括し、今後の在り方について考える時期に来ています。 ○各教科での「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」の実施と「ドリームチャレンジタイム（DCT）」の見直しと改善が必要です。 ○全学科において、生徒の学習意欲の喚起をより一層図る方策の検討が必要です。 ○社会の変化に柔軟に対応できる学力を身に付けた人材の育成が必要です。 ○総勤務時間縮減に向けて教職員の勤務の在り方の見直しと精査が必要です。	
(4) 現状と課 題	教育 活動	○普通科について、希望進路の90%が進学となる中で、より一層効果的で適切な教育課程や指導の在り方が課題となっています。 ○「主体的・対話的で深い学び」については2年間の研修で必要性については浸透しましたが、実際の実施については不十分な面もあります。 ○生徒の学習意欲の喚起を図るためDCT等の指導について見直しが必要です。 ○グローバル化や地方創生等に対応できる学力を持った生徒の育成が必要です。 ○生徒の学力をより一層確実に定着・伸張させるために自宅学習や補習の在り方について研究し実施する必要があります。 ○学校全体に落ち着いてともに学ぶ雰囲気があり、自他を大切にする学校文化が醸成されていますが、さらに自尊感情の醸成や役立ち感を実感できる教育の充実に取り組む必要があります。	
	学校 運営等	○勤務時間を超えて分掌業務、部活動指導業務等に従事するなど恒常的な過重労働に陥っている職員や、放課後の補習・会議等で多忙感を感じている職員がいます。 ○授業・分掌業務・部活動指導等について、協力・協同して取り組む体制を確立するとともに質を重視した見直しを行い、教職員がライフワークバランスを図りつつ、やりがいを実感できる学校づくりを進める必要があります。	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○「生徒の夢をかなえる学校」に関して 「主体的・対話的で深い学び」の実施により、生徒がこれからの社会で必要となる学力や能力を確実に身に付け、地域社会やグローバル社会において活躍しようという意欲を持ちつつ希望進路の実現を果たしています。 ○「地域と共に歩む学校」に関して 各学科がそれぞれあるいは相互に連携を図りながら、本校ならではの特色ある取り組みを地域社会と連携しつつ多角的に行い、地域の活性化に貢献しています。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○「皆がやりがいを実感する学校」に関して 授業・分掌業務・部活動指導等について、同僚性を発揮するとともに、協力・協同して取り組む体制が確立するなど、教育活動や学校運営を継続的に改善するための仕組みが機能し活気のある明るい組織風土が醸成され、多くの生徒・保護者・職員が学校に満足しています。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導・ キャリア教育 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○進学希望者が90%を超えるという生徒の実態を踏まえてカリキュラムマネジメントに努め、普通科の教育課程の見直しを行います。 ○教育活動全体を通じて「命を大切にす る教育」や「政治的教養を育む教育」 の充実に努め、自他をともに大切にす る生徒の育成を図ります。 ○地域社会とグローバル社会で通用する 力を持った人材育成に資する教育の在 り方について研究しつつ実施します。 ○生徒の意欲を引き出す教育の在り方 について研究し、生徒が「探求」しよ うとする授業をデザインします。(DCT と宿題管理、キャリア教育プログラ ムの見直し等) <p>【活動指標】普通科教育課程の見直し、命を大切にす る教育と政治的教養を育む 教育、探求学習の実施 【成果指標】相可高校に満足と答えた生徒 の割合90%以上</p>		
改善課題			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
授業力向上の取組	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けて、先進校の事例に学ぶなど校内での研修の一層の充実を図ります。</p> <p>【活動指標】先進校視察と研修会の実施 【成果指標】視察や研修会を参考にして「主体的・対話的で深い学び」の授業を実施したと答えた教員の割合75%以上</p>		
少子化を見据えた活性化策	<p>○相可高校ならではの特色ある教育について、教育面での相可高ブランドとして総括し、地域社会に向けて積極的に情報発信します。</p> <p>【活動指標】管理職及び学科主任による中学校への訪問 【成果指標】入学希望者の増加</p>		
働きやすい職場環境づくり	<p>○総勤務時間の縮減に向け、効率的な業務推進や年休等を有効に活用できる環境整備に努めます。本年度は、委員会の構成を見直し、会議時間の一層の短縮(50分以内)を図り、時間外労働については、月あたり4時間の削減を、休暇取得については年あたり1日分の増加を目指します。あわせて、時間外労働が80時間を超える者の減少を目指します。定時退校日と部活休養日について具体的な数値目標を設定し実施して、ライフワークバランスを図ります。</p> <p>○教育活動に対してすべての教職員が法令遵守のもとで、協力・協同して取り組むことができるよう意識の変革と向上を図ります。特に、部活動指導の在り方について検討し、実効性ある取組につなげます。</p> <p>【活動指標】会議時間の短縮、時間外労働の削減、休暇取得の増加、定時退校日と部活休養日の検討と実施 【成果指標】会議時間50分以内の実施、時間外労働の月あたり4時間の削減、休暇取得の年1日増加、定時退校日(1ヶ月に2回)と部活休養日(週1回)の設定と実施</p>		

改善課題

5 学校関係者評価

明らかになった
改善課題と次へ
の取組方向

6 次年度に向けた改善策

教育活動につ
いての改善策

学校運営につ
いての改善策